

本校の沿革

I 沿革

1 本校は、昭和22年に新制中学として、「個性豊かな建設的社会人の育成」を教育目標に掲げて第一歩を踏み出した。昭和27年には、独立校舎が建設され、以来歴任教職員並びに同窓会員、地域住民との連携と協力によって3000名以上の卒業生を社会に送り出している。今年度は豊岩中学校創立74年目を迎えている。

2 創立以来の校訓である「切磋琢磨」は、現在も脈々と生徒に受け継がれながら、生徒一人一人の座右の銘として生かされている。

3 昭和54年3月、現校舎が竣工した。この年、市教委の「特別活動（学習指導）研究委嘱校」として3年間の研究を続け、昭和56年に、研究成果の一端を公開している。平成7年度には、市教委の「環境教育研究委嘱校」として1年間の研究に励んだ。そして、平成13年度より3年間「児童生徒歯・口の健康づくり推進事業」の研究委嘱を受け、平成15年10月に全国学校歯科保健研究大会で生徒の代表が実践発表を行った。

また、平成30年度には、市教委の「課題研究推進校」として、「豊かな人間性の育成に関する研究」をテーマとし、「道德教育」の充実について研究・発表を行った。

4 学校の前には水田が広がり、その向こうには南から北に雄物川が流れており、豊かで美しい自然環境に恵まれている。川面のはるか東方に太平山の秀麗を仰ぎ、西方の林に秋田杉が茂り、その丘の一角に白華館城跡がある。純朴で温かい地域の方々は大変教育に熱心で、学校に対しても極めて協力的である。このような環境のもとで教職員は創意と工夫を結集し、一人一人の生徒たちのより豊かな自己表現を目指して、情熱を傾けながら日々の教育営為に精進している。

II 学区

1 豊岩小学校区の5町内（石田坂、居使、中島、前郷、小山）と八田小学校区の2町内（櫛田、八田）の7町内にわたっている。

2 生徒数（学年、部活動、令和2年4月現在）

	男子	女子	合計	野球	陸上競技	吹奏楽	部活無し	合計
1年1組	0	0	0	0	0	0	0	0
2年1組	3	1	4	1	1	2	0	4
3年1組	3	4	7	1	1	3	2	7
合計	6	5	11	2	2	5	2	11

3 地域の状況

南から北流する雄物川に沿った地域で、一本道の通学路は、舗装されているものの道幅が狭く曲折が多い。昭和56年の秋田空港の開港、昭和59年のインターハイ開催に伴うスポーツゾーンの開設、小山工業団地の創業に加えて、平成10年3月30日に仁井田と豊岩地区を結ぶ南大橋の開通、平成11年4月20日に県道寺内新屋雄和線が開通し、通学路の自動車通行量は激増している。

通学距離は、石田坂から約3.0 km、小山から3.5 km、楢田から5.4 km、八田から約7.5 kmである。自転車通学路は2.0 km以上で、石田坂、小山、楢田、八田が該当している。

校 章 の 由 来

旧豊岩村の村章は、五つの部落が親しく、協力し合うことを願って、5個の輪（円）を10個（トウ）の「ヨ」で囲んでいる。（トウのヨで豊）。この村章を元に、「白華館」の「盾」と中学校の「中」を加えることとし、秋田工業高校の斎藤靖雄先生に図案化を依頼し、昭和30年に制定された。